

1. 業務環境

1) 千葉県の景気動向

県内の景気は、原油・原材料価格の上昇や物価高、人手不足の影響を受けつつも、緩やかな持ち直しの傾向が続いています。先行きについては、各種経済対策の効果等により、緩やかな回復が続くことが期待されるものの、依然として不透明感があることから、原油・原材料価格の上昇や金利上昇、国際情勢の変化等が県内経済に与える影響を十分に注視する必要があります。

2) 中小企業・小規模事業者を取巻く環境

中小企業・小規模事業者の経営環境については、原油・原材料価格の上昇や物価高、深刻な人手不足等の影響により、依然厳しい状況が続いています。資金繰りについては、一部で景気回復に伴う運転資金や設備資金の増加も見られますが、原油・原材料価格等の外部要因の動向によっては、先行きに懸念が生じる可能性があります。

また、中小企業・小規模事業者は、経営者の高齢化による事業承継への対応や深刻な人手不足、物価や借入金利の上昇等を踏まえて、収益改善や生産性向上に取り組む必要があり、なお多くの課題を抱えているといえます。

2. 業務運営方針

令和6年度の保証承諾は、令和5年度と概ね同水準で推移しました。令和7年度は、景気の持ち直しによる運転資金や設備資金、新たに創設された協調支援型特別保証制度等により、令和6年度をやや上回る水準を見込みます。

令和6年度の代位弁済は、前年を下回る水準で推移しましたが、厳しい経営環境を踏まえ、令和7年度は令和6年度を上回る水準を見込みます。

令和7年度は、令和6年度から3か年に亘る第8次基本経営計画の2期目であり、引き続き本計画に則った運営を進めていきます。

本計画は、当協会の基本理念である「私たちは創造性豊かな中小企業のおきパートナーとして多様で活力ある成長と繁栄をサポートします。」の実現につながるものと位置付けており、「お客さま満足の実践（CS）」「地域・社会への貢献」「活力ある組織づくり（ES）」「経営態勢の強化」の4つを基本目標として定めています。

「お客さま満足の実践（CS）」として、引き続き、自治体、金融機関、支援機関、商工団体との連携を通じて、万全の資金繰り支援を、迅速かつ積極的に行います。

あわせて、令和7年1月に制定した千葉県中小企業活性化協議会、千葉県事業承継・引継ぎ支援センター、千葉県よろず支援拠点との「4機関のチーム支援による中小企業・小規模事業者の課題解決に向けた共同宣言」に則り、上記3機関に当協会を加えた4機関が連携（以下、「4機関連携」という。）して多岐にわたる経営課題を抱えるお客さまに対して、各機関の支援見通しを確認した上で案件の橋渡しを行う等、実効性のある早期の経営改善・事業再生・事業承継への取組みを促進します。

また、経営者保証を不要とする取組みや信用保証申込の電子手続き（以下、「電子申込」という。）のデジタル化等を推進してお客さまの利便性を向上させていくとともに、当協会においても、独自に策定したデジタル戦略に基づく環境の整備やデジタル技術を活用した業務の合理化・効率化に取組み、働きやすく魅力的な職場とするなかで、多様化・高度化する業務に資する人材を育てていきます。

この実現に向け、以下のとおり実践していきます。

1) お客さま満足の実践（CS）

① 信用保証制度の機能発揮

原油・原材料価格の上昇や物価高、人手不足等の影響を受ける中小企業・小規模事業者への資金繰り支援について、金融機関と連携して、金融機関のプロパー融資と保証付融資を組み合わせた協調支援型特別保証制度を活用する等して金融仲介機能の一層の強化を図り、経営の安定や事業の発展等、多岐にわたる経営課題解決への取組みにつなげていきます。創業者に対する資金繰り支援として、経営者保証を不要とするスタートアップ創出促進保証制度（SSS保証）を推進するほか、小規模事業者に向けて商工団体と連携した保証制度（コネクトちば）の取扱いも進めます。

また、電子申込の利用を促進し、お客さまの利便性向上を図るとともに、保証に当たっては、経営者保証を不要とする取組みの推進や期中におけるM&Aや事業承継時の適切な対応、経営実態や事業性を十分に踏まえた評価を行う等、保証審査業務の充実を図ります。

保証後においては、ゼロゼロ関連融資にかかる業況報告書等を活用してアフターフォローを行うことに加え、初めて返済条件の緩和措置を行うお客さまの経営課題や実情を把握し、経営支援部門と連携した支援の実施によって早期の経営改善・事業再生を後押しします。

② お客さまの課題解決のための伴走支援の強化

県内における創業者の創出や創業後の成長を後押しするため、経営者保証を不要とするスタートアップ創出促進保証制度等を活用して創業資金の支援を行うことや、自治体等と連携した創業セミナーや創業スクールを開催する等により創業支援に取り組めます。

原油・原材料価格の上昇や物価高、人手不足等の影響を受ける中小企業・小規模事業者や、伴走支援型特別保証制度等を利用している中小企業・小規模事業者へのサポートに注力し、ライフステージごとに異なる多岐にわたる経営課題に応じたきめ細やかな支援を実施していきます。そこで、4機関連携を活かし、各機関からの助言や支援見通しを踏まえて、各機関への橋渡しや専門家による支援を実施する等して、早期の経営改善・事業再生・事業承継への取組みを促進していきます。

より質の高い経営支援の取組を行うため、支援の実績について定量的な効果検証を行います。効果検証の指標は、経営改善支援先におけるCRD区分、売上高増加率、営業利益率とし、支援先と非支援先の各指標を比較して検証します。

③ 「ありがとう」の一步先へ行くサービスの提供

電子申込による利便性向上や業務効率化の観点から、未導入の金融機関へ導入に向けた働きかけとサポートを実施します。

当協会はこれまで、“お客さま満足の追求”として、企業訪問や経営相談、専門家派遣による経営改善支援、事業承継支援等、お客さまとの直接の接点をより大切にした事業を実施してきました。中小企業・小規模事業者の資金繰り支援、経営支援に万全を期すためにも、引き続きお客さまに寄り添った伴走型支援が重要であると認識しています。

その上で、お客さまのニーズに応じてデジタル技術を活用するベストミックスなサービスを提供することで、お客さまに満足していただく取組みを実践していきます。

こうした取組みを通じて、「信用保証協会がここまでやってくれるとは思わなかった」とお客さまに感謝していただけるよう、「ありがとう」の一步先へ行く質の高いサービスを提供することを目指します。その実現に向けて、金融機関との情報交換を大切にして、地域のお客さまの実情をよく把握することに加え、価値ある情報の発信にも引き続き努めていきます。

2) 地域・社会への貢献

創業支援、事業承継支援、事業再生支援は、第一にお客さまの満足を実現することが目的ですが、お客さまへの支援を通じて地域・社会に貢献するという目的もあります。当協会は、自治体、大学、金融機関と連携して一層効果ある支援を実施することで、地域活性化に向けた役割を果たします。

また、SDGs（持続可能な開発目標）に取り組むお客さまを支援する等、SDGsへの取組みを通じて、地域・社会への貢献に努めます。

3) 活力ある組織づくり（ES）

デジタル化の進展や急速な少子高齢化、中小企業・小規模事業者の休廃業・解散の増加等、信用保証協会を取巻く環境は大きく変化しています。これらの環境変化に対応し、お客さまに満足していただく取組みを実践して地域・社会に貢献するためには、何より経営基盤となる多様で活力のある人材が必要です。多様な働き方の導入や職員の意識や声を反映した職場環境とすることで、職員にとって魅力ある仕事、魅力ある職場であることを実現し、職員のモチベーションアップと人材の確保・定着を図ること

で、顧客サービスの充実につなげていきます。また、伴走支援型の経営支援や業務のデジタル化に対応するための人材育成にも取り組めます。

4) 経営態勢の強化

理事会の活性化や内部監査・検査体制の充実、外部評価委員の意見を適切に業務に反映する等、コーポレートガバナンスを強化します。また、デジタル化の進展に伴う情報セキュリティ対策等、リスク管理の強化やコンプライアンスの徹底、反社会的勢力等の排除・不正利用の防止等、経営管理態勢の強化を図ります。

自然災害や大規模な経済危機が発生した際は、中小企業・小規模事業者は大企業に比べその影響を大きく受けやすく、信用保証協会はセーフティネットとしての機能を適切に発揮することが必要です。このため、事業継続計画（BCP）の検証と見直しを行うとともに、公益財団法人千葉県産業振興センターと災害時・危機時における連携体制を整え、有事の際にも業務を安定的に継続できるよう、平時から情報交換等を行います。

中小企業・小規模事業者の金融の円滑化という信用保証協会本来の役割を発揮するためには、経営基盤の安定が重要です。そこで、引き続き保証協会債権回収株式会社（サービサー）を積極活用した求償権回収業務の充実や安定的な財務基盤の確保に努めます。

また、中長期に亘るデジタル化の展望をまとめたデジタル戦略に則ってデジタル化を進めることや、事業部門ごとに業務プロセスの見直しを行う等、業務の効率化に取り組むことで、更なる経営基盤の強化を図ります。

3. 保証承諾等の見通し

令和7年度の保証承諾等の主要業務数値(見通し)は、以下のとおりです。

項 目	金 額	対前年度実績比
保証承諾	443,553 百万円	102.3 %
保証債務残高	1,197,322 百万円	94.9 %
代位弁済	25,572 百万円	125.9 %
回収	3,432 百万円	100.8 %